

(様式1・小学校用①)

令和2年度 学校評価報告

草加市立松原小学校

(令和2年2月1日作成)

1 学校教育目標 心身ともに健康で自ら学ぶ子 ～ やさしい心・強い心・健やかな体・自ら学ぶ子 ～	
2 重点目標・努力目標 <ul style="list-style-type: none">・幼保小中を一貫した教育・基礎的、基本的な学力の定着・個を生かす指導・道徳教育の充実・健康、体力の向上・学級経営の充実・学校行事の充実・生徒指導の充実	3 前年度の成果と課題 成果 ○全教職員が道徳科、外国語科など指導方法を研究し、児童の学力向上に取り組むことができた。 ○保護者、地域と連携し、安全安心な学校環境を作ることができた。 課題 ●ICTを取り入れた学習、プログラミング教育に向けた指導方法の向上 ●保護者と協力し、挨拶、「早ね早起き朝ごはん」の徹底、健康診断の治療率向上に取り組む。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A	○コロナ禍であるが、各分掌主任を中心に組織的に工夫ある活動を実施できた。 ●活動が縮小される中でも有意義な活動ができるよう工夫を行う。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B	○指導訪問を中心に授業改善に取組み、アクティブラーニングを取り入れた学習を推進できた。 ●多様な授業形態に対応できるよう教員の指導力を向上できる研修を実施する
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○環境衛生の管理、消毒の徹底がなされ、感染者も皆無で、大きな事故も無く対応できた。 ●歯科治療の指導を、継続して強化し治療率100%を徹底する。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○諸表簿の管理、施錠の徹底など教職員の意識を徹底する事ができた。施設面では、早期対応で安全に保たれている。 ●情報漏洩事故0,施設管理の徹底を継続する。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	B	○公開、発表会など工夫し実施できた。また、HPを毎日更新し、児童の様子を発信することができた。 ●学校運営協議会や地域との連携を効果的に進める。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○校内だけであるが、各部会を中心に中学校に向けた学習習慣、健康、家庭との連携を実施することができた。 ●幼保との連携をさらに進め、また家庭への情報提供を行い一貫した教育の推進を図る。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○教育計画を機会あるごとに確認し、各学年の履修内容を全て指導することができた。 ●教科書の改訂による新教材、新教具をさらに改善し、工夫した指導を研究する。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳科、外国語科、プログラミング教育など校内研究を実施し、指導方法を工夫することができた。 ●児童一人一人の意欲・学力をさらに向上させる指導方法を研究する。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○外部指導者を招いての研究授業、評価の共通理解など道徳科教育を推進した。 ●実践力の育成、家庭・地域との連携方法の指導力を向上させる。
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教科書、交流方法などALTときめ細かに連携し、児童の外国語への意欲が向上した。 ●一貫教育を念頭に置き、中学校と連携していく。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○制限された中ではあったが、1年生を迎える会、あいさつ運動など児童の活躍が見える活動を実施できた。 ●ICTを活用し、少しでも交流できる活動を工夫する。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○調べ学習を中心に実施し、発表方法などを工夫した授業展開を行うことができた。 ●地域に目を向けた指導内容の充実を図る。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○SSWが生徒指導委員会に参加し、共に協議することができた。学級でのトラブルも早期に対応できている。 ●保護者と連携を強化し、不登校0を目指す
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○乗入授業を実施し、6年生の中学校への学習意欲を向上させることができた。 ●中学校、地域との連携を実践できるよう工夫していく。
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○巡回相談、SCとの連携、校内研修の充実と児童への様々な対応を推進できた。 ●特別支援学校とさらに連携し、指導方法を研究する。
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○感染対策を講じながら、昨年度と同程度の読書活動を充実させることができた。 ●引き続き読書の質にこだわった指導を展開する。
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○教育計画を見直し、児童のリテラシー向上を図り、段階的に指導を推進できた。 ●ギガスクール構想に備え、教師の指導力、児童の学習方法を研究する。
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○教育計画に則り、視聴覚教材の活用や人権感覚育成プログラムの指導を行い、人権感覚を育成できた。 ●同和問題、感染上のいじめなど新旧の課題に即した指導を徹底する。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	松原小学校の校風の確立	・歌声の響く学校 ・いつでも、どこでも元気よくあいさつ ・俳句	B	○児童会の取組をはじめとしてあいさつ運動を年間通して意識付けができた。 ○俳句作りが定着し、季節を意識した表現ができるようになってきた。 ●感染症対策を意識した合唱指導の在り方 ●校外でのあいさつ
	保護者、地域に信頼される学校	・地域交流の充実 ・教育活動の情報発信	A	○HPの更新を毎日行い、教育活動を保護者、地域に発信することができ、保護者からも評価を得ることができた。 ●感染症対策を優先させるため、地域との交流を十分行うことが難しかった。
	学力・体力の向上	・学力・学習状況調査を踏まえた指導の充実 ・感染対策を踏まえ、対策を講じながら体力向上を図る	B	○朝自習の工夫、過去問の反復練習を行い、児童の課題を克服し、基礎的基本的な学力を向上させることができた。 ○密を避け、一人一人が目標を持ち、体力向上を実践することができた。 ●表現力をさらに向上させる指導を工夫する。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- ・感染対策を講じながら、教育活動を充実させることができ、保護者への参観も実施することができ、保護者アンケートによる結果、満足度99%の高い評価を得ることができた。
- ・新しい生活を行う中で不安に思う保護者が見られたが、保護者対応、適切な対応ができていと保護者アンケートでは、平均96%と評価を得られた。
- ・児童一人一人の課題に即した指導、反復練習を行い、基礎的基本的な学習の定着が図れ、埼玉県学力・学習状況調査において各学年で大幅な向上が見られた。
- ・学校運営協議会を実施し、教育活動を参観し多様な学習活動について、称賛していただいた。感染症対策を聞き、安心安全な学校づくりを認める発言があった。
- ・PTA活動が縮小され、思うような活動ができなかった。次年度は、連携方法を工夫し、学校、PTAでより良い環境を作り、児童の教育活動を充実させたい。

6 次年度の改善策

- ・学力調査の結果を分析し、校内研究を充実させ、指導者を招聘し「主体的・対話的で深い学び」の指導方法をさらに確立していく。
- ・栄中学校区の幼保小中を一貫した教育をさらに推進していく。特に、幼保との連携を充実させるため、関係教職員を中心に計画を立て、実践していく。
- ・感染症対策を講じながら、児童の活躍の場を増加し、自己肯定感を向上させる活動、指導方法を向上させる。